

村上・岩船地区大会

8月22日(土) 教育情報センター

各中学校の代表が、自分の主張・思いを堂々と発表しました。

アトラクションとして、村上東中学校の吹奏楽部がすばらしい演奏を披露してくれました。

大会で最優秀賞に選ばれた板垣さん(山北中学校3年)の発表内容と市内各校の代表者を紹介します。

なお、最優秀賞の板垣さんは、9月12日(土)に三条市で開催された新潟県大会に、村上・岩船地区の代表として出場しました。

●問い合わせ 村上地域振興局保健福祉部
(村上保健所内) ☎53-8361



最優秀賞

いたがき なぎ
板垣 凧 さん

=山北中学校 3年=

「私が住む場所」

ここに住み続けたい。私にそう思わせたいのは、ある一つの出来事が関係している。それは祖父の死だ。私は以前から大都会の暮らしにあこがれを感じていた。いつか大都会に出て夢を叶えるんだと、いつもそう思っていた。しかし、それは突然起きた。家でちょうどこの作文を書こうとしていたとき、突然電話が鳴り、

「じじの息が止まった。」

と、病院にいた祖母から連絡があった。すぐに病院に駆けつけたが、祖父の心臓はすでに止まり、何度呼んでも返事は返ってこなかった。家に帰ると、予想もしていなかった出来事が起き

た。親戚が20人ほど家に集まってきたのだ。そして、みんな泣いていた。私は、その状況に驚くと同時に「もしこれが大都会のご真ん中なら、こんなことはありえないのではないか。」と思った。

私の住む地域、「中継」は人口282人の小さな集落だ。中継では、年に数回イベントや祭りが行われる。そのどれもが、中継の人が運営し、集落みんなが参加できるものだ。春に行われる「中継桜まつり」では、しだれ桜の下で花見をしたり、近くで採れた山菜などを販売したりする。夏に行われる「盆踊り」では、おばあちゃん方が歌う歌に合わせ、高校生を中心にみんなで輪になって踊る。秋に行われる「中継もみじマラソン」では、中継の景色を楽しみながらコースを走り、参加者に豚汁が振る舞われる。冬に行われる「雪ほたる」では、雪だるま作りや大人が作ってくれた遊び場で遊び、つきだての餅をみんなで食べる。こんなふうに、中継では季節ごとにさまざまな行事が行われる。しかし、どれも共通してあることが言える。そ



れは、集落みんなで助け合っているということだ。子どもたちの安心を大人が全を大人が見守り、大人でも分からないことがあればその上の代の人たちが教え、その人たちを子どもたちが笑顔にする。そうしてこの集落は成り立っている。だからこの集落では、一人一人の存在が大切にされ、必要とされているのだ。そんな集落の姿がそれぞれの行事の良さとして出るからこそ、集落の外からたくさんの人が集まってくるのだろう。

しかし、今、中継では少子高齢化が課題に挙がっている。以前、中継には保育園や小学校、中学校があったが、今では小学生が13人、中学生は12人、そして保育園児は2人しかない。このままでは、活気あふれる集落の姿が、この集落の良さが、いずれ消えてしまうかもしれない。大人になったとき、自分の育った集落に帰ってくるということができないかもしれない。そんな嫌だ。

そんな時起こったあの出来事は、私に地域の現状と課題を確認させ、この集落の温かさを感じさせてくれた。では、私はこの集落のために何ができるだろう。まずは、他の地域から人を呼び込み、集落の人口を増やさなければならぬ。そのために中継の自然や人、食べ物などの魅力を発信することが重要となる。しかし、今までの私は、中継で見る綺麗な景色も、近くで採れたおいしい食べ物も、何もかも当たり前だと思っていた。そう思っている人は私の他にもいるのではないか。そこが問題なのだろう。他から見れば、すごいことでも、自分たちには当たり前のことなのだから、その良さが伝えられないのだ。私たちは、自分たちの住む場所の良さを理解しなければならぬ。理解した上で、自慢していかなければならぬ。

私はこの集落が大好きだ。だから、この集落がずっと残るように、自分たちの手で守ってきたい。そして、私が住む場所の未来を変えたい。

優秀賞

こばやし かのん
小林 夏音 さん

=村上第一中学校 3年=

「被災地交流で学んだこと」

福島県広野中学校との交流活動を通して、将来について考え、今の生活の幸せを改めて実感している。



奨励賞

うちやま なおき
内山 直紀 さん

=神納中学校 3年=

「卓球部で得たこと」

「仲間の大切さ」「時間の大切さ」中学校の部活動を通して学んだ2つのこと。部活引退後の生活にも役立てていきたい。



奨励賞

なべくら たつや
鍋倉 辰也 さん

=村上東中学校 3年=

「人を大切に」

人を大切にするということは、「家族や友達に悪い言葉を使わないこと」、もう一つは「困っている人がいたら相談にのること」です。人を大切にすることは素晴らしいことです。



奨励賞

なかやま
中山 こはる さん

=朝日中学校 3年=

「自分たちにできること」

美術部には都市大会のような大会がないので、選手が元気になるような飾り付けを作成した。過去に励まされた経験から、自分たちができる取組を後輩にも受け継いでもらいたい。



奨励賞

こやま あかね
小山 茜 さん

=村上中等教育学校 3年=

「うそつき」

嫌われたくないために自分を偽るようになったが、家族を傷つけてしまうという失敗を犯した。そんな経験から正直に生きたいと考えるようになった。自分にも人にも正直でいたいと願う。



奨励賞

さかうえ まい
坂上 舞 さん

=岩船中学校 3年=

「二人の先生の教え」

最高学年としての在り方について先生の言葉を通し自身を振り返る。日常生活において、物事への取り組み方など自主性を持つことの必要性を感じている。



奨励賞

いたがき あかり
板垣 明里 さん

=荒川中学校 3年=

「人見知り」

「人との関わりは心を豊かにするもの」人見知りの意識をなくしてみようと思わなければ持たなかった考え。今の自分は人と関わることでとても楽しく過ごすことができる。この楽しさに気付いてほしい。



奨励賞

たかはし すずか
高橋 紗加 さん

=平林中学校 3年=

「本当の健康とは」

世間一般には体に害を与えるものとして良いイメージのない食品添加物や栄養補助食品。見方を変え「オーガニック」と合わせて考えることでより健康な生活が送れると思う。



◎市外(岩船郡)の代表で、駒沢愛さん(関川中学校3年)が優秀賞を、本保たからさん(粟島浦中学校3年)が奨励賞を受賞しました。